

学 校 関 係 者 評 価 報 告 書

学校関係者評価の基本方針

企業・業界団体・学術機関の有識者等との連携により、各専門分野における知見を活かして各学科の教育目標や教育環境等について評価し、その評価結果を教育活動及びその他の学校運営の改善に活かしていく。

開催日 令和1年12月2日（月） 15：40～17：10

場 所 南海福祉看護専門学校

評価項目	現状・達成目標	課題と今後の改善方策	学校関係者の評価・提言
<p>(1) 教育理念・目標</p> <p>学校の理念・目的・育成人材像は定められているか。</p>	<p>「人間（ひと）を大切に」という教育理念のもとに、</p> <p>①勤勉であること、 ②人・ものを大切にする心をもつこと ③全ての人に明るく対応できること ④基本的生活習慣を正しく確立すること ⑤公共心、協調性を身につけること ⑥目的意識・向上心をもち積極的であること</p> <p>の6つの教育目標を掲げている。</p>	<p>課題</p> <p>学生へ指導をする以前に、教職員自身が教育理念を身につける必要がある。言葉だけでなく、振る舞いで示せるように取り組む。</p> <p>改善策</p> <p>教職員全員が教育理念を暗記し、職場だけでなく、日常生活から実践していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 創立50周年の伝統ある学校なので、何を受け継ぐのかと問われると、伝統であり、教育理念そのものだと思う。 ○ 時代は変われども、教育理念は普遍的なものなので、その時代で輝く人材を輩出するための教育理念であって欲しい。 ○ 学生の中で、教育理念に一番近い人を選考して、表彰をしてもいいのではないか。 ○ 定期的にクラスで唱和することも、身につける一つの手段 ○ 福祉だけではなく、あえて言うなら福祉人としての根幹となる精神なので、徹して身につけて欲しい。
<p>(2) 学校運営</p> <p>目的等に沿った運営方針が策定されているか。</p>	<p>毎月1回の法人幹部会と年3回の定例理事会において目的等に沿った運営方針の計画、中間報告、進捗状況を確認して進めている。</p>	<p>課題</p> <p>法人幹部会、運営会議、職員会議、学科会議等のスムーズな連携による認識の共有。</p> <p>改善策</p> <p>運営会議がポイントになるので、ここからの発信を軸に連携を強化する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各種会議が定期的に行われているので、運営に関する連携を有意義なものになるよう一人ひとりが責任と自覚のもとで取り組んで欲しい。 ○ 運営方針は、期初に明確であるので、進捗管理をいつ、誰がするのかまでを決めておく必要がある。 ○ 学校運営の重点項目に基づいた各科の取り組み項目を作成し、中間・最終報告を発表する場を持つことが必要。
<p>(3) 教育活動</p> <p>教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。</p>	<p>各科、指定規則の基準に則り、教育課程を定めており、一般教養科目ならびに選択科目において本校の特色をだし、かつ、授業科目間の連携を考慮して体系づけている。</p>	<p>課題</p> <p>本校の教育理念をいかに教育課程に反映させるのが課題。</p> <p>改善策</p> <p>教育課程、授業内容、授業方法等を期初に決めているので、実践する。担当教員は進捗を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教員の教育力向上のため、各学期末に学生の授業評価を実施して教員にフィードバックする。教員はリフレクションペーパーを作成し、授業改善に役立てる。 ○ 教授能力向上に向けた研修を行う。また、研究費を各科に付与し、科内で研究を促進する。 ○ 介護社会福祉科は留学生の受け入れを始めたので、ルビを入れての資料や日本語授業など学習の支援体制を強化する。 ○ 職業実践能力を培う上で極めて重要な施設実習における学習効果を高めるために実習評価基準を作成。

<p>(4) 学修成果</p> <p>就職率の向上が図られているか。</p>	<p>学校運営組織の中に「キャリア支援部」を設置し、クラス担任等と連携し本校学生のキャリア形成と就職活動を支援している。</p>	<p>課題</p> <p>年内就職率100%が課題だが、介護福祉士国家試験が1月にあるため、そこに注力する学生は、試験後の就職活動を迅速に支援する。</p> <p>改善策</p> <p>早期からの一層の就職意識の高揚促進。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 課題、改善策は前年度と同様とし、課題解決が図られるよう努力する。 ○ 卒業生による就職講演会や相談会を実施。学生の就労への動機づけやキャリア形成の意識を高める。 ○ 福祉の現場は人手不足となっているなか、施設職員は人材確保のため、専門学校等への求人アプローチが活発である。学校の姿勢が就職先との更なる信頼関係に繋がるため、学修成果につながる就職支援ができるよう取り組む必要がある。 ○ 就職後の定着率も注目されてきている。離職する原因を把握できれば、定着に向けた指導に活かすことができるのではないかと。
<p>(5) 学生支援</p> <p>進路・就職に関する支援体制は整備されているか。</p>	<p>クラス担任制をとり、定期的に個人面談を実施。卒業生の就職している施設による学内就職ガイダンス、模擬面接、スーツディ等の実施により、早期の就職意識の高揚を促している。</p> <p>月に2回、心理カウンセラーが来校して、カウンセリングを行っている。(予約制)</p>	<p>課題</p> <p>就職活動の意識が強い学生はよいが、意識が弱い学生に対しては早期から促していく。</p> <p>改善策</p> <p>担任がクラスの学生の就職活動状況を把握して、キャリア支援部と共通理解を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 進路選択を前提に、卒業ができるできないに位置する学生へは進路と卒業支援を平行して行っていく。 ○ キャリア支援部、各科、クラス担任が連携することを具体化してみてもどうか。 ○ 保育士に関しては、待機児童解消施策の実施とその後続く少子化、保育教諭等々の動向を鑑み、学生への詳細な情報提供が望まれるものとする。 ○ 求人票が施設等から届いた場合、速やかに学生が閲覧できる状態にすること。
<p>(6) 教育環境</p> <p>施設整備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。</p>	<p>教育上必要な機器・設備については整備するとともに、5年間の中期設備更新計画を立て、優先順位をつけて実施している。</p>	<p>課題</p> <p>2号館の老朽化による雨漏り、空調設備の不具合等施設整備。Wi-Fiの個数が少ないため、増設して強化する必要がある。</p> <p>改善策</p> <p>実施時期のスケジュール化。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校経営上、改修計画・設備更新計画は必要不可欠。年度単位でのスケジュール化が必要。 ○ 課題、改善策を基に課題解決が図られることを期待するが、緊急避難時の方法や学生誘導を普段から教員・学生ともに訓練し確認することが必要。また、防災時の備蓄、設置されているAEDの確認を行うことも必要。 ○ 長期修繕計画の導入とPDCAの実施が必要。
<p>(7) 学生の受入れ募集</p> <p>学生募集活動は、適正に行われているか。</p>	<p>大阪府専修学校各種学校連合会が定めた専修学校版A0入試に関する運用基準に沿って、スケジュール、留意事項等を遵守し、適正に行っている。</p>	<p>課題</p> <p>本校の教育活動の特色、魅力をいかに正確かつ分かりやすく伝えられるか。</p> <p>改善策</p> <p>高校訪問、ガイダンス、SNS、HP等を通じ、福祉の仕事の魅力度、職業教育の実践の場を地道に誠意をもって発信していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学生募集については、オープンキャンパスを有効な魅力発信の場と捉え、受験生への直接的なアピールを期待する。また、専門学校の特性として、社会人への情報発信を積極的に行うことが重要である。 ○ 学生募集は、受験生へのアピールだけでなく、地域住民への公開講座や地域交流などにより、地域全体への奉仕と地域福祉への貢献を行い、地域での存在感を強めることが必要。 ○ 学校の魅力づくり、評価向上、ブランドイメージ向上を目的に、特色づくり教育・研究、周辺環境、就職の観点から検討中。

<p>(8) 財務</p> <p>中長期的に財務基盤は安定しているといえるか。</p>	<p>平成31年4月、看護学科設置に伴い、先行投資を行ったことと、既存学科の入学者数が減少したため、マイナス決算となっている。</p>	<p>課題</p> <p>2年後の看護学科完成年度には収支均衡とする。 ○C来校者数を増やす。</p> <p>改善策</p> <p>学生募集が財務基盤に直結するため、募集活動の強化と計画的な施設整備。そして消耗品等の支出管理を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 課題。改善策ともに明示されている。この策に従って、課題解決が図られることを期待する。 ○ 経営基盤の確保は重要であることは確かであるが、入学者数の確保とリンクさせると、教育効果・人材養成との間でディレンマが生じる恐れがある。 ○ 財務基盤が安定している時期に「結果としての収入確保」（経営基盤の確保）のあり方を検討されたい。
<p>(9) 法令等の遵守</p> <p>法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。</p>	<p>学校教育法、各学科に関する法令、専修学校設置基準等に基づき適正な運営を行っている。</p>	<p>課題</p> <p>教員は専門分野だけに精通することなく、関係法令を把握して、その役割を果たす一員であること。</p> <p>改善策</p> <p>関係する法令を学習し、業界動向、社会ニーズ、法改正の情報等の収集力を高める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 課題、改善策ともに明示していることを教員としての使命と自覚をもって臨んで欲しい。 ○ 課題・改善策とも最低限守るべきことであり、日常業務の中で全教職員に浸透する努力を継続されたい。 ○ 事務職員は教員以上に関係する法令には精通する必要がある。学校運営上、意図なく法令を逸したとしても、それに気付き、軌道修正への指摘ができる力を身につけて欲しい。